

2024 12/4 Wed 15:00-16:30

日本獣医生命科学大学 B棟5階 B511講義室
+オンライン

リーダーシップ・
マネジメント養成セミナー

哺乳類親子関係の脳科学 親の養育と子の愛着



黒田 公美 Kumi KURODA
東京科学大学 生命理工学院 教授

1992年京都大学理学部卒業、1997年大阪大学医学部卒業。精神科研修医、McGill大ポスドク、理化学研究所脳神経科学研究センターを経て現職。専門は親子関係など親和的な社会性の神経科学。子育てに必要なCalcrc-MPOA神経細胞をネズミとマーモセット(サル)で同定。また人間やネズミで親が子を運ぶと子が大人しくなる現象「輸送反応」を2013年に発見、現在は輸送反応を利用して赤ちゃんの泣きを鎮め寝かしつけに役立つウェアラブルシステムを開発中。著書『子ども虐待を防ぐ養育者支援』2022 岩崎学術出版

Abstract

仕事とプライベートの充実で、多くの者が抱える課題の一つは両立である。中でも子育て世代が抱く「こういう子育てのやり方で大丈夫か」「もっと他のやり方で子供に接したほうがいいのではないか」など、“親と子との関わり”に、日々、頭を悩ませている者は多い。そして、ダイバーシティ社会を形成する中で、従前に比べて男性が子育てに積極的にかかわるようになってきている。“親と子との関わり”は男女を問わず普遍的な関心事であると言える。

黒田公美氏の「親和的な社会性の脳内メカニズムの研究」内容は、上記問題を扱う上での貴重なヒントやきっかけになると考えられ、また、考案された「親子関係と社会性に関わる新規行動アッセイ」や「乳児の泣き止み・寝かしつけ支援デバイス」は、大変興味もたれる。

Information

参加 無料

申込 [こちらから](#)▼



締切12/1(月)

対象 日本獣医生命科学大学、日本医科大学、アンファー株式会社に所属する教職員

日本獣医生命科学大学 附属動物医療センター 獣医師および技術職員

主催 日本獣医生命科学大学ダイバーシティ推進委員会

日本獣医生命科学大学ダイバーシティ推進室

☎ 0422-31-4151(ex5107) ✉ diversity@nulv.ac.jp 🌐 <https://one-health.jp/>